



ほけんだより 7月号

令和4年6月27日

そらまい守谷保育園

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。普段からの外遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断をうけましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。食事は喉ごしのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙がでます。周りの人への感染源となるのでタオルは共有しないようにしましょう。



これらの感染症は、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。

とびひ

アトピーやあせも、虫刺され、すり傷などを手で触ったりかいたりすると、皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり、水ぶくれになったり、かさぶたになったりします。なかでも黄色ブドウ球菌は高温多湿を好むため、夏になると流行します。虫刺されやすり傷などは放置せず、しっかりと消毒をして清潔にし、とびひにならないように注意が必要です。汗をかいたらこまめに着替え、爪は短く切り、毎日シャワーを浴びて体を清潔に保つことが一番の予防法となります。



プール前チェック!

- いよいよプール遊びが始まります!
- ・爪は伸びていませんか?
 - ・皮膚に異常はありませんか?
 - ・熱はありませんか(熱が引いた後、2日以上経っていますか)?
 - ・鼻水や咳は出ていませんか?
 - ・目やにや充血はありませんか?
 - ・食事や睡眠はとれていますか?

